

都市フォーラム24号

東北都市学会通信（通巻24号）

2011年7月31日

<http://www.senkyo.co.jp/tau/index.html>

主なトピック

- ・東日本大震災にあたっての日野会長コメント
- ・東北都市学会 2011 年度大会のお知らせ
- ・2011 年度大会発表等の申込
- ・石巻支部会の開催
- ・『研究年報』第 11・12 号の編集状況
- ・『研究年報』第 13 号自由投稿論文等の募集
- ・会員の状況
- ・2011 年度会費納入のお願い
- ・事務局から

東日本大震災にあたっての日野会長コメント

——震災復興と関係して期待される東北都市学会の活動——

会長 日野正輝

この度の東日本大震災で被災された皆様には心からお見舞い申し上げます。学会事務局でも、震災直後会員の安否確認を行いました。大変残念なことです。石巻支部の支柱であった河村五郎会員、石川茂男会員の訃報が届きました。両会員ともに津波の犠牲者となりました。この場を借りて、ご冥福をお祈りし、哀悼の意を表します。

学会では、今秋福島市で開催予定であった日本都市学会の大会テーマを、急遽「震災と持続可能な都市づくり」に変えて開催することに致しました。被災地ではこれから復興に向けた取組が本格化するわけですが、次世代の人達が今回の震災を景観・土地利用に刻み、悲しみを乗り越えて「まち」を支え、復興に取り組んだ先人たちの努力を語り継ぐような都市づくりが望まれます。東北都市学会も、会員の個別の取組と同時に、学会設立の精神（「都市に関する学術の進歩普及を図るとともに、都市の健全な発展に寄与すること」）に立帰り、東北の復興の問題に積極的に係るつもりでいます。

上記の日本都市学会大会に合わせて、東北都市学会大会を開催します。そこでは、会員の皆さんと、震災後の地域の状況及び復興に関する情報交換を

通して、今後の活動について意見交換させて頂きたいと思っております。多くの会員のご参加と、学会活動について積極的な提案をお願い申し上げます。

東北都市学会 2011 年度大会のお知らせ

学会 HP でもご案内していきますが、東北都市学会 2011 年度大会は日本都市学会大会と併催することになり、11 月 4 日(金)・5 日(土)・6 日(日)に、福島市で開催することとなりました。4 日の午後にはエクスカーショ「福島駅周辺のまちづくり(仮)」、5 日の午前には会員の研究発表 I、午後は公開シンポジウム「震災と持続可能な都市づくり」、6 日の午前には会員の研究発表 II (ここまで日本都市学会と併催)、午後に会員と東北都市学会員を中心とした東日本大震災に関する意見交換会を行います。会場は「コラッセふくしま 4~5 階」(福島県福島市三河南町 1 番 20 号)です。

会員の皆さんのご参加をお待ちしています。大会要項は次のとおりです。自由研究発表への申込もお待ちしています。

[2011 年度大会開催要項]

日程 11 月 4 日 (金) ~6 日 (日)

会場 コラッセふくしま 4~5 階

[プログラム]※東北都市学会会員に関するものを抜粋

4 日 (金)

13:30~16:30 エクスカーション

5 日 (土)

09:30~12:00 研究発表 I

13:30~16:30 公開シンポジウム

18:00~20:00 懇親会

6 日 (日)

09:30~12:50 研究発表 II ここまで併催

13:30~14:00 理事会 (2011 年度第 2 回)

14:10~14:30 会員会

14:40~16:30 意見交換会

[公開シンポジウム]

テーマ 震災と持続可能な都市づくり

- 13:25 開場
 13:30 特別講演
 講演者：瀬戸孝則氏（福島市長）
 14:00 シンポジウム
 『震災と持続可能な都市づくり』
 16:30 閉会

2011 年度大会研究発表の申し込み

2011 年度大会における自由報告の発表を募集いたします。以下の発表申し込み要領、発表要旨作成要領ならびに発表要領をご覧の上、電子メール、または同封の発表申し込みハガキ(地域会員にのみ送付、一般会員は後日日本都市学会から送付)に必要事項を記入し、学会事務局にお送り下さい。

[発表申し込み要領]

- 発表の申し込みはできるだけ電子メールを使用して下さい。
matsumoto.m@fukushima-nct.ac.jp
- 発表申し込み締切は **9 月 5 日**です(必着)。
- 共同発表の場合は、すべての共同者の名前を書き、発表者には○印をつけて下さい。また、発表者は 4 人以内とします。
- 取り消しの必要が生じた場合は、直ちに事務局に連絡して下さい。

[発表要旨作成要領]

- 発表要旨は次の要領で作成してください。
※今年度は日本都市学会大会発表のフォーマットになるので、ご注意ください。
- ① A4 サイズ、縦長、横書きで 2 枚以内。
- ② 余白は上下 25mm、左右 19～20mm、文字数は横 23 字×縦 45 行、2 段組、段間 0.9～10mm、2,070 字/頁。文字は 10 ポイント、明朝体。見出しはゴシック。
- ③ 1 頁目の上部 7 行分は 1 段組とし、タイトル、所属、氏名に使用します。2 行目にタイトル(14 ポイント、ゴシック、中央揃え)、6 行目に所属・氏名(10 ポイント、ゴシック、右揃え)、本文は 8 行目から 2 段組で。(年報掲載論文と同じスタイル)
- ④ そのまま印刷原稿としますので、図表は見やすく貼り付けてください。図のタイトルは図の下部に、表のタイトルは表の上部に、それぞれゴシック、中央揃え。
- 発表要旨の送付締切日は **10 月 7 日**です。
- 要旨の送付は電子メールを使用して下さい
(matsumoto.m@fukushima-nct.ac.jp)。

[発表要領]

- 発表内容は、都市に関する研究報告、調査研究報告、都市施策・まちづくり・地域づくり等の実践報告を主とします。
- 個人発表の場合は発表、質疑応答、交代時間を含めて **25 分**とします。今年度は共同発表も同時間とします。
- いずれも時間を厳守して下さい。
- 発表の際には、発表レジュメあるいは発表資料をできるだけ用意して下さい。

石巻支部会の開催

斎藤美和子会員(ベガルタ仙台)の呼びかけにより再発足した石巻支部ですが、第 1 回は 2010 年 6 月 14 日、第 2 回は 10 月 12 日に行われ、「環境、エネルギー問題と原子力の役割」菅原剛彦氏(シニアネットワーク東北代表幹事)と「再生可能エネルギー導入の可能性」呉国紅氏(東北学院大学電気情報工学科准教授)、第 3 回は 2011 年 2 月 22 日に「資源としての「慶長施設」」濱田直嗣氏(仙台市博物館元館長)による話題提供と活発な意見交換がなされました。また、2011 年度第 1 回(7 月 19 日)では、来年度の東北都市学会大会の石巻市での開催が支部会のメンバーにより承認されました。**第 2 回は 10 月 18 日(火)に開催**されますので、会員の皆様もふるってご参加ください。

【訃報】冒頭の会長のコメントにもありましたが、支部会メンバーである河村五郎氏(協業組合丸協理事長)と石川茂男氏((株)宮城プラントサービス工業取締役会長)が東日本大震災によりお亡くなりになりました。おふたりは第一次石巻支部会からの中心的な存在であり、学会としても非常に残念なことであります。ご冥福を心よりお祈り申し上げます。

『研究年報』第 11・12 合併号の編集状況

大幅に遅くなり大変申し訳ありません。研究年報第 11・12 号の編集を現在、進めております。自由投稿論文(数本)と 2 大会(2009 年度仙台大会、2010 年度弘前大会)のシンポジウム記録で構成され、年末までに会員の皆様方にお届けする予定です。

『研究年報』第 13 号自由投稿論文の募集

『研究年報』第 13 号の 2012 年秋発行を目指して、自由投稿論文を募集いたします。第 13 号掲載用の原稿のメ切は 3 月末日必着とさせていただきます。

学会誌のコンスタントな発行と内容の充実をとおし、東北都市学会の一層の盛り上げを図ろうと考えておりますので、ふるってご応募ください。

なお、上記に限らず自由投稿論文は随時受け付けています。「論文」、「研究ノート」、「フィールドノート」、「都市情報」、「書評」、「文献紹介」、すべてのジャンルで受け付けます。

投稿にあたっては、研究年報各号に掲載している【研究年報投稿規程】にしたがって原稿を作成のうえ、下記『研究年報』編集委員会宛にお送りください。

なお、従来のような紙媒体による投稿に限らず、**Word 形式の論文データを添付した電子メールによる投稿も受け付けます。**

『研究年報』編集委員会

〒970-8034 いわき市平上荒川字長尾 30
福島工業高等専門学校コミュニケーション情報学科
松本行真研究室気付（編集担当）
Tel 0246-46-0850
E-mail matsumoto.m@fukushima-nct.ac.jp

会員の状況 2011年7月末現在

一般個人：83 一般学生：8 団体：5
（日本都市学会会員 96）
地域個人：26 地域学生：1
合計会員数 123

2011年度会費納入のお願い

2011年度の会費納入をお願いします。学会の活動は、会費によって支えられています。会員の皆様の迅速な納入をお願いいたします。うっかり滞納をされている会員もおられるかと思えます。納入にご協力ください。**また、3年以上滞納されている会員の方には別途、連絡いたします。**

なお、会費請求書を同封いたしましたので、郵便振替あるいは銀行振込をご利用ください。会費は次のとおりです。なお、**2009年度から東北都市学会費は個人、学生会員とも1,000円下がっています**のでご注意ください。

[会費]

一般個人会員 9,000円
地域個人会員 5,000円
一般学生会員 7,000円
地域学生会員 3,000円
団体会員

東北都市学会費 10,000円×口数+日本都市学会費 4,000円

[納入方法]

郵便振替 02250-2-42389 東北都市学会
郵便貯金口座 18140-27225001 東北都市学会
銀行口座 七十七銀行 仙台市役所支店
(普) 5253861 東北都市学会 会長 日野正輝

東北都市学会役員 (2010.10~2012.9)

会長 日野 正輝【本部支部会長理事】
理事 北原 啓司(青森)
理事 石沢 真貴(秋田)
理事 佐藤 慎也(山形)
理事 吉野 英岐(岩手):編集担当
【本部支部選出理事】

理事 千葉 昭彦(宮城)
理事 初沢 敏生(福島)
理事 吉原 直樹
理事 岩動 志乃夫:研究活動担当
理事 高橋 英博:渉外担当
理事 佐藤 信夫
理事 佐藤 直由:会計担当【本部監事】
理事 松本 行真:庶務担当【本部常任理事】
理事 仙台市
(担当:企画市民局総合政策部政策計画課)
理事 仙台エリアマーク事業協同組合
(担当:松本 真明)
監事 阿見 孝雄・高橋 早苗
顧問 古田 義弘

事務局から

- ▼ 『都市フォーラム』は会員の皆さまのお手元に届く少し前には、HPでもご覧になれます。
- ▼ 2011年度大会は11月4日~6日に福島市で日本都市学会と併催になります。多数の会員の参加をお願いいたします。
- ▼ 「石巻支部会」の項目でご案内したように、2012年度の東北都市学会大会は、宮城県石巻市での開催を予定しております。会員の皆様方のご協力をお願いいたします。

都市フォーラム 24号

東北都市学会通信
2011年(平成23年)7月31日発行
編集発行 東北都市学会事務局
〒970-8034 いわき市平上荒川字長尾 30
福島工業高等専門学校コミュニケーション情報学科
松本行真研究室気付
Tel 0246-46-0850(直通)
E-mail matsumoto.m@fukushima-nct.ac.jp
http://www.senkyo.co.jp/tau/index.html

2011 年度日本都市学会第 58 回 福島大会
「震災と持続可能な都市づくり」

日本都市学会会長 戸所 隆
東北都市学会会長 日野正輝

2011 年 3 月 11 日に発生した未曾有の東日本大震災に対して、多くの識者は人知の限界を認めてきた。同時に、震災は、国民に、生活様式および地域の在り方を、短期的な効率性よりも永続的安全性などの基本に立ち返って再考することを求めていると言える。

被害状況の科学的検証は進みつつあり、これまでの防災対策の問題点・限界が明らかにされるとともに、様々な復旧・復興策が具体的に提案されてきている。しかし、被災地域の復興には、被災地の防災インフラおよび生活の再建の問題に限らず、国および地域の将来を見据えた上で社会経済生活の拠点となる都市づくりの検討が求められる。そのためには、将来予測と制約条件とを対照しながら、地域のガバナンス、コミュニティ、空間整備、経済などを再構築し、それを持続可能なものにする仕組みづくりが必要になる。そして、地域社会を構成する諸要素とその連関からなる地域の全体像を描写し、住民が地域の将来像を描く際の考え方、観点、材料を供することが期待される。

この課題に応えるためには、多くの学問および実務分野の人達が、それぞれの専門領域に係る問題を検討する一方で、相互に交流して意見交換することが必要である。その点で、学際的組織であると同時に、地方自治体と連携し、都市・地域の問題に取り組んできた日本都市学会には、この課題に取り組む使命がある。

当学会は、これまでも災害をテーマにした大会を 3 回開催している。1983 年「都市と災害」、1995 年「都市の文化と災害」、2002 年「都市と危機管理」である。それぞれ長崎大水害、阪神淡路大震災、東海豪雨に対応したものであった。被災地の復興の課題は地域により、また時代あるいは社会状況によって違っている。その意味では、地域性を踏まえた議論が期待される。同時に、テーマに掲げた「持続可能な都市づくり」は被災地に限られた問題ではなく、縮小社会あるいはポスト成長社会と呼ばれるようになった日本の都市全体に通ずる課題であり、そのモデル構築は一般性を有している。

この大会が全国から多くの参加者を得て、活発な議論とアイデアの提供の場となり、「次世代の人達も安全・安心に、そして豊かに生活できる」持続可能な都市の在り方を見出す機会になることを期待します。

○日時 2011(平成 23)年 11 月 5 日(土) 13:30~16:30

○場所 コラッセふくしま 4 階多目的ホール

○内容

1. 特別講演 瀬戸孝則(福島市長)

2. シンポジウム

パネラー 加藤恵正(兵庫県立大学経済研究科教授)、鈴木浩(福島大学共生システム理工学類教授)、吉原直樹(大妻女子大学社会情報学部教授)、福島県副知事

コーディネーター 山川充夫(福島大学経済経営学類教授)

★懇親会 会場:「きいちご」(コラッセふくしま 12 階) 参加費:6,000 円 18:00~20:00